

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:31年1月7日

事業所名:こころんクラブ高羽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・小集団で活動するにはスペース不足 ・運動遊び時には隣の保育園のテラスを借りている	はい 60%、その他 40% ・体を動かす時などはもう少し広い方が理想 ・年齢が上がりが大き成長してきたら狭く感じるかもしれません	・可能ならば移転によりスペースを確保する
	2 職員の適切な配置	・ほとんどの場面で1対1対応できる人数配置ができています	はい 80%、その他 20%	・継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・必要に応じて遊具が見えないように目隠しをしている ・予定やロッカーに写真やイラスト等で示している	はい 53%、その他 47%	・構造化できるように環境を整えていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・清掃を行い清潔を心掛けている ・食事やおやつ前にはテーブルを除菌している	はい 87%、その他 23%	・感染症が流行する時期には玩具等の消毒頻度を増やす
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・活動と記録に多くの時間を取られ、業務改善のための話し合いなどは不十分である		・療育の合間などに全体での療育会議を行う機会を増やす
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・特に行っていない		・必要に応じて検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研究などに積極的に参加している ・定期的に外部講師からの療育方法の指導を受けている		・継続して積極的に参加していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・定期的に面談を行いニーズや要望などを確認した上で作成している		・面談時以外の機会でもニーズや要望の把握に努めていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・年齢や能力に応じた活動を行っている ・現状は小集団での活動がメイン	はい 78%、その他 23% ・保護者よりも、子どもに合った計画を立てて下さって助かります	・必要に応じて個別活動を行う機会も取り入れていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童の状態に応じたの目標や具体的な支援内容を記載している		・支援に必要な項目の設定や具体的な内容をわかりやすく記載していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・計画に沿った支援内容を行うよう努めている	はい 78%、その他 23%	・年齢や課題内容によってクラス分けを行い、児童に合った支援をすすめていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・担当職員を中心に、ミーティング等の話し合いで職員の意見を集めて、活動プログラムを組み立てている		・継続していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・長期休暇中は特に遠出の外出等、普段行いにくい活動を取り入れている ・利用時間にも配慮して活動をしている		・長時間の利用児は特に活動内容について綿密に計画していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・月案、週案を作成し、児童の人数や能力に応じて活動内容を立てている		・同じ活動でもその時の気分や体調によってできる範囲は異なるので、状態に留意して設定していく ・達成感を得られる活動を設定していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・当日のリーダーがプログラムを設定し、活動に入る前に確認している		・引き続き継続していく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・個人記録を記入するとともに様子について振り返り、気付いたこと等を伝達している		・引き続き継続していく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・個人記録を作成しファイルしている ・活動内容の振り返りと申し送りによって内容や方法について改善するよう努めている		・引き続き継続していく
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的に行っている		・子どもの発達に応じて必要があれば随時行っていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・担当者会議が行われる際には参加するようにしている	・開催される際には参加していく	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	・就学児には学校に対して情報伝達をしている ・学校からの見学等を行っている	・積極的に情報共有をする機会を作っていく	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・該当する状況なし	・今後必要があれば情報提供する機会を作っていく	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・他機関と連携する態勢は取れていない ・研修等あれば参加している	・研修等には積極的に参加していく	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・放課後等デイサービス利用児は児童館での活動に参加することがある ・併設のこども園や一時保育の活動に参加させてもらう事がある	はい 67%、その他 33% ・あえて園の環境を離れるために通っている ので無くても問題ありません	・交流や活動の橋渡しができる機会を作っていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・行っていない		・必要があれば行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に説明を行う他、利用料変更時にも伝達するようにしている	はい 93%、その他 7%	・継続していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・作成、更新時に個別面談を行い、支援計画を作成して渡している	はい 93%、その他 7%	・わかりやすく丁寧な説明を心掛けていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・特別実施はしていない	はい 40%、その他 60% ・ペアレントトレーニングに興味はある ・家ではなかなかできていない	・実施方法等、可能か検討していく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳や送迎時に療育の様子や活動内容伝えている	はい 87%、その他 23%	・伝わりやすい方法や表現で、引き続き継続していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者から相談があった場合は時間を取ってアドバイスや助言を行っている	はい 87%、その他 23% ・4月から先生が変わったが名前すらわからないので写真付きの説明があったらと思う	・相談しやすいような機会や方法を設定していきたい
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・実施はしていない	はい 20%、その他 80% ・どのような子が通っているのか気になる	・必要があれば行う
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・第三者委員も含めて対応体制は整備している	はい 40%、その他 60%	・契約時に説明しているが、周知していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・特性に合わせて写真やカード等で伝わりやすいように配慮している	はい 87%、その他 23%	・今後も伝わりやすい方法を模索し、継続していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・長期休暇中は行事予定を作成して配布している	はい 40%、その他 60%	・活動内容や予定などを記載した会報を作成し、定期的に配布していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時に個人情報取り扱いについての説明を行い、同意書に記入してもらっている ・個人名記載の書類等はシュレッダー処理をしている	はい 80%、その他 20%	・取り扱いについて職員研修を行っていく ・今後も取り扱いには注意していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを作成しているが、保護者には周知できていない	はい 80%、その他 20%	・契約時等内容について説明する機会を作っていく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的に火災や地震を想定した訓練を行っている	はい 40%、その他 60%	・訓練の実施状況を保護者にも伝達していく ・防災訓練の面で、なるべく全ての児童が参加できるように配慮していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・定期的に全職員を対象に研修を行っている		・今後も継続していく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・現状行っていない		・今後必要な際には法令に基づいて適切な対応を取っていく
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・対象児の昼食は保護者のお弁当を用意してもらっている ・食事時には席を離す等、接種や触れることがないよう配慮している		・対象児の制限項目について確認を行い、注意を払っていく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットが起こった際には職員間で伝達し、報告書を作成している		・事例集を作成していく ・活用して事故が起こらないよう気を付けていく